|  |
| --- |
| **一般社団法人　日本家政学会 家族関係学部会ニューズレター**  　　　　　　　 **Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics**2018年度　第１号　2018.6.27発行https://encrypted-tbn0.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcRzn5b2oPR-DkxNFyOVj2_MiSB6wwMtNyN9eSvPPm9R6_xzanJA編集　表　真美発行　家族関係学部会事務局　 |

＊＊＊＊＊　**INDEX**　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

■ 部会長より　　　　　　　　　　　　　　　■ 第38回家族関係学セミナーのご案内

■ 編集委員会より　　　　　　　　　　　　　■ 会計より

■ 部会役員改選選挙について　　　　　　　　■ 庶務（会員管理担当）より

■『家族関係学』の管理・発送担当より　　　 ■「家庭生活アドバイザー」について

■ 平成29年度事業報告　　　 　　　　　　　■ 平成29年度収支計算書

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**★ ☆ ★ 　部会長より　 ☆ ★ ☆**

**佐藤　宏子（和洋女子大学）**

　大阪府北部を震源とする地震による被害に遭われた部会員の皆様に心からお見舞い申し上げます。梅雨の真っ盛りの時期に発生した震度６弱の大きな地震ですので、土砂災害などの二次災害にくれぐれもお気をつけください。皆さまの教育研究環境および生活環境の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

日本家政学会第70回大会が５月26～27日に日本女子大学で盛大に開催され、「家族」分野の口頭発表およびポスター発表が行われました。26日に開かれた役員会では、平成29年度の事業報告および決算書が承認されました。本ニューズレターの最後に掲載いたしますのでご覧ください。平成29年度決算では黒字化が実現しました。この背景には、部会員の年会費の納入率が高まったこと、部会活動のICT化を進め通信費・消耗品費を大幅に抑えたことがあげられます。そして、ICT化は経費削減にとどまらず、メーリングリストの整備によるニューズレターやメールマガジンの一斉送信を実現し、メルマガやホームページによるタイミングの良い情報発信と部会員への迅速な連絡を可能にしました。本ニューズレターも部会HP上に公開いたします。

また、5月9日には『家族関係学』No.36がJ-STAGEに掲載されました。そして、多くの部会員の執筆による『家族を読み解く12章』（丸善出版）が、年内の刊行を目指して進んでいます。さらに、本部会も協力部会となっている「第3回家政学夏季セミナー」が9月6日と7日の両日、「生活の質的向上を目指す家政学の世界－子どもの貧困と子ども食堂－」をテーマとして東京家政大学で開催されます。日本家政学会HPからお申し込みいただけますので、ぜひ部会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

現在、部会役員改選選挙が行われています。2016年の前回選挙では、投票率が20％を下回りました。多くの部会員の皆さまが選挙に参加し、部会運営にお力添えいただきますことをお願いします。

第38回家族関係学セミナーのご案内

**大石　美佳（第38回家族関係学セミナー実行委員長／鎌倉女子大学）**

　日程：2018年10月13日（土）～10月14日（日）

会場：鎌倉女子大学大船キャンパス（JR大船駅下車、徒歩8分）

■プログラム

１日目　10月13日（土）　12:00～　受付

13:00～16:00　　公開シンポジウム

テーマ：地域社会における多世代共生の可能性

―家族と住まいに焦点を当てて―

報告1　 松本暢子（大妻女子大学社会情報学部教授）

報告2　 六角　薫（NPO法人セカンドリーグ神奈川事務局次長）

報告3　 小澤千穂子（大妻女子大学家政学部教授／家族関係学部会員）

司会　 井田瑞江(関東学院大学社会学部准教授／家族関係学部会員)

藤崎宏子(元お茶の水女子大学／家族関係学部会員)

16:30～17:30　　総会

18:00～20:00 懇親会

２日目　10月14日（日） 　 午　前　 自由報告　【1報告につき、報告時間20分、質疑応答5分】

　　　　　　　　　　　　　　　（※時間は演題数により確定し、プログラムにてお知らせします。）

■「自由報告」の募集

自由報告申し込み期限：2018年7月20日（金）必着
報告要旨の締め切り ：2018年8月20日（月）必着

■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申し込み」は８月上旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、5月末に送付しました「第38回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

■連絡先：第38回家族関係学部会セミナー大会実行委員会事務局

大石　美佳　研究室

〒247-8512　鎌倉市大船6－1－3　鎌倉女子大学　Tel.：0467-44-2111（代表）

E-mail：m.oishi★kamakura-u.ac.jp　　★を＠に置き換えてください

**★ ☆ ★ 編集委員会より ☆ ★ ☆**

**山根　真理（編集委員長／愛知教育大学）**

編集委員会では、『家族関係学』No.37を12月初頭に刊行するべく、編集作業を進めています。昨年度、京都で開催されたセミナーのシンポジウム特集「家族／家庭のリアリティを多角的に考える－生活者としての女・男・子どもの生きざまを問い直す－」に加え、家族関係学の「いま」と「これから」を考えるテーマの寄稿を依頼し、次号も充実した部会誌にすることを目指しています。

今号では、投稿論文査読過程に一部、メール送付を導入することといたしました。これは、前期からの引き継ぎ課題で、経費削減と査読過程における時間短縮というメリットがあります。今号ではまず、投稿規程の枠内でできる電子化を取り入れ、次期に引き継いでいきます。よろしくご理解のほど、お願いいたします。

前期からの継続課題であったJ-STAGE登載が実現しました。５月９日にNo.37がJ-STAGEに掲載され、『家族関係学』誌が電子の海に漕ぎだしました。（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>）前期・今期部会長、前期編集委員長をはじめ、ここに至るまでご尽力くださった多くの方々に御礼を申し上げます。今後、新刊号の登載とともに、既刊号の登載をすすめていくことになります。登載確認作業はそれなりに時間と集中を要する仕事であり、作業のための体制をつくり、段階的に作業をすすめていく必要があるかと思います。引きつづき、ご理解のほどお願い申し上げます。

　次号の投稿締め切りは2019年3月末日の予定です。なんと言っても投稿論文あっての部会誌です。ふるっての投稿をお待ちしています。なお、近年、投稿規定・執筆要項（分量、字数・行数など）が守られていない投稿原稿が散見されますが、学術誌としてのルールが守られての投稿であり部会誌です。投稿規定・執筆要項を熟読、厳守のうえ、投稿していただきますよう、お願い申し上げます。

**★ ☆ ★　会計より ☆ ★ ☆**

**井上　清美（会計／川口短期大学）**

2018年度部会費として4000円を請求させていただきます。５月末に送付いたしました払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を払込取扱票の通信欄に記載しております。すでに2018年度分を払込いただいた部会員の方は、二重にお支払いにならないよう、ご注意ください。

学生会員として2018年度会費の入金を希望される方は、学生証の写しを家族関係学部会事務局まで、郵送、FAX、画像のメール添付のいずれかの方法でお送りください。詳しくは、家族関係学部会ホームページのトップページをご覧ください。所定の手続きを行わずに学生会員の年会費を入金されても、学生会員として認められません。ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

|  |
| --- |
| 会費振り込み先：（郵便振替）００３１０－６－３０２２９　家族関係学部会連絡先：川口短期大学　井上清美 〒333-0831　川口市木曽呂1511　 Tel：048-294-1963 Fax：048-294-3755 E-mail：ki.inoue★kawaguchi.ac.jp　　　★を＠に置き換えてください |

**★ ☆ ★　部会役員改選選挙について ☆ ★ ☆**

**山下　美紀（庶務／ノートルダム清心女子大学）**

部会役員改選選挙についてお知らせいたします。「一般社団法人日本家政学会家族関係学部会会則」ならびに「一般社団法人日本家政学会家族関係学部会役員選出規定」に基づき、2018～2019年度（2018年10月～2020年10月）の役員（選出委員）の選挙を行います。投票用紙等は2018年6月18日付で発送しましたので必ずご確認ください。（選挙権のある方に送付しております）

**投票の締め切り日は、2018年7月6日（金）（消印有効）です。**

記入を終えた投票用紙は、無記名で投票用紙封入用の薄い茶封筒に入れて密封し、これらをさらに投票用紙返信用封筒に入れ、住所、氏名を明記のうえ82円切手を貼って、下記の選挙管理委員会委員長宛にご返送ください。なお、選挙管理委員会は、永田晴子、小野瀬裕子、山下美紀により構成されています。

|  |
| --- |
| 選挙管理委員会委員長：大妻女子大学家政学部　被服学科　永田晴子　　　　　　　　　　　〒102-8357　東京都千代田区三番町12役員選挙に関するお問い合わせ：ノートルダム清心女子大学　山下 美紀E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局・選挙管理委員会）★を＠に置き換えてください |

**★ ☆ ★　庶務（会員管理担当）より ☆ ★ ☆**

**山下　美紀（庶務／ノートルダム清心女子大学）**

　住所・所属・会員区分の変更、入・退会のご希望、メーリングリスト（ＭＬ）へのメールアドレスの登録・変更がございましたら、家族関係学部会事務局までご連絡ください。

**★ ☆ ★　『家族関係学』の管理・発送担当より ☆ ★ ☆**

**山下　美紀（庶務／ノートルダム清心女子大学）**

『家族関係学』は1冊2000円で販売しています。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いします。購入希望者の方は、家族関係学部会事務局までメールでご連絡ください。

|  |
| --- |
| 連絡先：ノートルダム清心女子大学　山下 美紀　　　　〒700-8516 　岡山市北区伊福町2-16-9 Tel：086-252-2142 Fax：086-252-5145E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp（家族関係学部会事務局）★を＠に置き換えてください |

**★ ☆ ★　「家庭生活アドバイザー」について ☆ ★ ☆**

**細江　容子（家族・家庭生活アドバイザー準備幹事／実践女子大学）**

一般社団法人日本家政学会認定資格「家庭生活アドバイザー」講習会が2017年8月と2018年3月に開催され、認定研修受講者18人が3月に認定試験を受験しました。その後、家庭生活アドバイザー資格認定委員会にて試験の合格検討ならびに資格申請要件の確認がなされ、資格認定の判定を行なった結果、18人全員の資格を認定することとなりました。さらに、4月14日の学会理事会にてこの結果が報告され、理事会において18人の学会資格の認定が承認され、一般社団法人日本家政学会認定資格「家庭生活アドバイザー」第1期生が誕生することとなりました。

　認定証の交付式は、5月26日(土)の学会第70回記念大会シンポジウム「家庭生活アドバイザー始動！」内にて実施され（石井克枝 学会長より交付がなされる）、「家庭生活アドバイザー」第1期生によりこれからのそれぞれの活動について抱負が述べられました。

今後の事業計画については、認定研修会を2018年9月1～2日に開催し、認定試験は、9月15日あたりで、関西と関東の2ヵ所を試験会場として実施することが検討されています。

❀＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋❀

**家族関係学部会**★を＠に置き換えてください

　 メールマガジン配信アドレス：info★kazokukankeigaku.jp

　 家族関係学部会事務局アドレス：inquiry★kazokukankeigaku.jp

　 家族関係学部会ホームページURL： http://www.kazokukankeigaku.jp/

❀＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋❀

**平成29年度事業報告**

**１．研究発表会、公開講演会等の開催**

 (1) 研究発表会

平成29年10月22日(日)　於：ホテルビナリオ嵯峨嵐山（京都市右京区）　13報告

(2) 公開講演会・シンポジウム等

「家族関係学セミナー公開シンポジウム」の開催

平成29年10月21日(土)　於：ホテルビナリオ嵯峨嵐山（京都市右京区）

テーマ：「家族／家庭のリアリティーを多角的に考える―生活者としての女・男・子どもの生きざまを問い直す―」

シンポジスト：沢山美果子氏（岡山大学）「『いのち』とジェンダーの視点からみた女・男・子ども―近世から近代へ」、天木志保美氏　（元同志社大学）「後期近代と家族」、宮坂靖子氏　（金城学院大学）「家族の近代化・脱近代化と子育て―ケアネットワークと情緒規範からのアプローチ」

参加者：計67名（一般会員39名、名誉会員4名、学生会員9名、招聘した外部講師2名、一般参加13名）。

**２．部会誌の刊行**「家族関係学」№36　平成29年12月1日発刊　260部

**３．研究及び調査の実施**本年度実施せず。

**４．研究の奨励及び研究業績の表彰**本年度実施せず。

**５．内外の関連学協会との連携及び協力**

　　韓国家族関係学会（KAFR）秋期大会へ李璟媛氏（岡山大学）を派遣した。

平成29年10月27日（金）　於：韓国ソウル市　祥明大学校

**６．出版準備**

　　『家族を読み解く12章』（仮称）（編集：（一社）日本家政学会、発行：丸善出版株式会社）の刊行準備を行った。

**７．『家族関係学』のJ-STAGE登載の準備**

　　編集委員会がJ-STAGE登載の準備を進めた。

**８．その他、目的を達成するために必要な事業**

ニューズレターの発行2回　平成29年　6/24（郵送）

平成30年　2/15（メール配信）184通

ホームページの更新12回

　　　平成29年　4/1、4/4、5/18、6/2、7/5、8/24、9/22、10/26、12/20

　　　平成30年　1/30、2/5、2/20

メールマガジンの発行５回（第２～６号）

　　　平成29年　4/5、5/12、8/23、12/20　　　平成30年　2/1

**９．会員の状況**(平成30年3月31日現在)

会員総数　203名（正会員175名、名誉会員８名、学生会員20名）

**平成29年度収支計算書**

